

ホームページ掲載内容

同意の取得について（観察研究の場合）：

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2014年12月22日）第12の1（2）イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代わりに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。以下、研究の概要を記載しておりますので、本研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名：

胃底腺粘膜病変における免疫組織学的後方視的検討

研究責任者：

順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター

消化器内科 助教 竹田努

研究分担者：

順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター

消化器内科 先任准教授 浅岡 大介

消化器内科 准教授 佐々木 仁

消化器内科 助手 鈴木 麻衣子

病理診断科 先任准教授 平井周

順天堂大学附属順天堂医院

消化器内科 先任准教授 北條麻理子

消化器内科 准教授 松本健史

消化器内科 准教授 上山浩也

消化器内科 助教 松本紘平

消化器内科 助教 泉健太郎

消化器内科 大学院生 赤澤陽一

消化器内科 大学院生 小森寛之

人体病理病態学講座 教授 八尾隆史

研究の意義と目的：

胃底腺領域の粘膜病変として胃ポリープや胃底腺型胃癌などが挙げられます。また近年 Proton pump inhibitor (PPI) の長期投与により、通常の胃底腺ポリープとは異なり、多発性白色扁平隆起・敷石状粘膜・fundic gland polyp-like lesion など様々な胃底腺粘膜病変の出現が報告されるようになりましたが、い

ずれも発生機序は十分に解明されておられません。

そこで胃底腺領域の粘膜病変において臨床病理学的検討に加え、免疫組織学的検討による病態機能を検討するため、本研究を計画しました。

観察研究の方法と対象：

本研究の対象となる患者さんは、順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センターに通院または入院中で、2007年1月1日から2018年2月28日までに上部消化管内視鏡を施行し、胃底腺粘膜病変を認めた方です。

利用させていただくカルテ情報は下記です。

診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、内服歴、検査結果（血液検査、内視鏡検査、病理所見）

研究解析期間：倫理委員会承認後 ～ 西暦 2019年12月31日

被験者の保護：

本研究に関係するすべての研究者は、ヘルシンキ宣言（2013年10月WMA フォルタレザ総会[ブラジル]で修正版）及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2014年12月22日）に従って本研究を実施します。

個人情報保護：

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。

利益相反について：

本研究は、消化器内科の自己資金によって実施しております。外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画し実施するものです。また、本研究に係る全ての研究者およびその配偶者などの家族は、本研究で用いる免疫抗体を製造している Abcam Co.との間に金銭的利害関係、雇用関係は一切ありません。

従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。

お問い合わせ先：

順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者センター 消化器内科

電話：03-5632-3111（内線）1264

研究担当者：竹田 努